

平成 28 年 2 月 26 日
日本銀行盛岡事務所

岩手県金融経済概況（平成 28 年 1 月）

1. 概況

県内経済は、生産面に新興国経済の減速に伴う影響などがみられるものの、緩やかな回復を続けている。

最終需要の動きをみると、個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの底堅く推移している。設備投資は、増加している。公共投資、住宅投資は、高水準で推移している。

生産は、弱含んでいる。雇用・所得環境は、改善している。

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回っている。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの底堅く推移している。

百貨店売上高（平成 28 年 1 月）は、身の回り品、食堂・喫茶が前年を上回ったものの、冬物衣料品が暖冬の影響から振るわなかつたことから、2 カ月振りに前年を下回った（前年比△0.2%）。

スーパー売上高（平成 27 年 12 月；全店舗ベース）は、2 カ月振りに前年を上回った（前年比+1.6%）。

新車登録・届出台数（平成 28 年 1 月）は、5 カ月連続で前年を下回った（同月の「登録車+軽」前年比△4.6%）。

—— 軽自動車は 13 カ月連続で前年を下回った（前年比△12.6%）が、乗用車は 2 ケ月連続で前年を上回った（同+7.9%）。

(2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額は、高水準を維持している。

—— 公共工事請負金額（平成 28 年 1 月）は 4 カ月振りに前年を上回った（前年比+6.0%）。

新設住宅着工戸数（平成 27 年 12 月）は、2 カ月振りに前年を下回った（前年比△10.2%）。

—— 貸家は 2 カ月連続で前年を上回った（前年比+7.4%）ほか、分譲は 2 カ月振りに前年を上回った（同+12.8%）ものの、主力の持家は 2 カ月振りに前年を下回った（同△23.5%）。

民間設備投資（短観ベース；平成 27 年度計画）は、多くの業種で積極的な投資姿勢を示す向きがみられることから、全産業ベースで前年を上回っている。

—— 平成 27 年度計画は、製造業・非製造業とも下期を中心に下方修正されたものの（年度修正率；製造業△5.6%・非製造業△1.6%）。3 年振りに前年比二桁増（前年度比+17.4%<修正率△4.0%>）となっている。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（平成 27 年 12 月）は、2 カ月連続で前年を下回った（前年比△8.7%）。

3. 生産動向

生産は、弱含んでいる。

鉱工業生産指数（季節調整値；平成 27 年 12 月）は、4 カ月振りに前月を上回った（前月比+3.1%）。

—— 12 月の動向を主要業種別にみると、食料品、生産用機械、電子部品・デバイスは上昇した。一方、電気機械、輸送機械、化学は低下した。

なお、四半期の動きをみると、26/10～12 月（前期比+1.3%）、27/1～3 月（同+4.2%）と 2 四半期連続で前期比増加したあと、4～6 月は減少（同△3.6%）し、7～9 月は小幅増加（同+0.4%）、10～12 月は△3.8%の減少となっている。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善している。

有効求人倍率（季節調整値；平成 27 年 12 月）は、1.20 倍となった。

—— 平成 25 年 5 月以降 32 カ月連続で 1.00 倍以上を記録。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査）は、前年を上回った（前年比平成 27 年 12 月+0.8%；平成 24 年 3 月以降 46 カ月連続で増加）。

名目賃金指数は、4 カ月連続で前年を上回った（平成 27 年 11 月 前年比+3.6%）。

雇用者所得（県内合計値；平成 27 年 11 月）は、常用雇用指数が 7 カ月連続で前年を下回ったものの、名目賃金指数が前年を上回ったことから、4 カ月連続で前年を上回った（平成 27 年 11 月 前年比+2.4%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）（平成 28 年 1 月）は、前年を下回った（前年比△0.2%；平成 27 年 4 月以降 10 カ月連続で前年を下回った）。

6. 企業倒産

企業倒産（平成 28 年 1 月）は、2 件、0.6 億円となり、件数・金額とも前年（4 件・3.3 億円）を下回った。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金、貸出は、前年を上回って推移している。貸出約定平均金利は、低下地合いを辿っている。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代） <http://www3.boj.or.jp/morioka/>